

三島市版総合戦略の策定と市民総参加のまちづくり

（第4次三島市総合計画・公共施設保全計画 策定事業）

アナ： 「市長が語る 2015 三島」第 21 回の今日は、「三島市版総合戦略の策定と市民総参加のまちづくり（第 4 次三島市総合計画・公共施設保全計画 策定事業）」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： 近頃、「地方創生」という言葉がいろいろなところで聞かれますが、どのような意味を持っているのでしょうか。

市長： これは、昨年5月に民間の研究機関から、「このまま東京など都市圏への若者流出と若年女性の減少が進めば、2040年には全国896の市区町村が「消滅可能性都市」になる」という報告書が提出され、全国の地方自治体に大きな衝撃を与えました。現在、日本全体が人口減少と超高齢化という大きな課題に直面しているため、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会をつくることにより、この大きな課題を克服しようという取り組みを、「地方創生」と呼んでいます。

アナ： 三島市はどのような取り組みを行うのでしょうか。

市長： 今年度中に「三島市人口ビジョン」と「三島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。人口ビジョンでは今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示します。総合戦略では本市が安定した人口構造を保ち、将来にわたって活力ある地域社会を実現するための今後5年間の目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示します。この総合戦略では、「東京一極集中の是正」や、「若い世代の結婚から子育てまでの希望をかなえる」などの目標を立て、様々な施策を実施していくこととなります。

アナ： 今年度中に策定ということで、タイトなスケジュールだと思いますが、三島の特徴を活かし、創意工夫を凝らした取り組みを期待しています。

続きまして「第4次三島市総合計画」とはどのような計画なのでしょうか。

市長： 総合計画は市の最上位に位置するまちづくりの計画で、総合的・計画的な行政運営を進めていくための指針となるものです。市民の皆様と一緒に定めた将来都市像である「せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島～環境と食を大切に～」を示した「基本構想」、具体的な施策を示した「基本計画」と、実効性を担保するために市財政との整合を確認する「実施計画」の3つの計画で構成されています。すべての市民が安心できる、安全で住みよい地域社会を構築し、活力ある豊かな暮らしを実現するために、市民と行政が一体となって進めていく10年間

のまちづくりの計画ですが、今年度は計画前半の節目の年となり、平成28年度からの5年間を計画期間とする後期基本計画の策定を進めています。

アナ： 各市町に総合計画があるそうですが、三島市ではどのようなところに力を入れているのでしょうか。

市長： 人を惹きつける魅力ある都市、市民や企業から選ばれる都市として持続的に発展し、地域間競争に勝ち抜いていくために、都市や行政を経営する視点から、歴史・文化や自然などの三島市固有の資源や市民力を活かした「ガーデンシティみしま」、「スマートウエルネスみしま」などの取り組みを重点プロジェクトとして進めています。

アナ： 最後になりますが、「公共施設保全計画」とはどのような計画なのでしょうか。

市長： この「公共施設保全計画」とは、今後、三島市が保有する公共施設をどのように維持、管理していくかについて施設別に計画を作成するもので、「公共施設の将来を考える」計画です。

アナ： なぜ、このような計画を作るのでしょうか。

市長： これは三島市だけに限ったことではないのですが、公共施設の多くは、高度経済成長期の急激な人口増加や社会環境の変化に対応するため、昭和40年代から50年代を中心に整備されたため、近い将来、一斉に更新時期を迎えます。今後、公共施設の改修や建替えに多額の費用が必要となるうえ、少子高齢化や社会保障費の増加により、市の財政状況が厳しさを増し、今ある公共施設のすべてをこのまま維持していくことは非常に困難な状況となることが想定されます。三島市ではこの問題に対応するため、長期的な視点で公共施設を適切に管理するための取り組みを早い段階から進めています。

アナ： 「公共施設に関する市民アンケート」を行っているとお聞きしましたが。

市長： 市民の皆様が公共施設の利用状況やご意見を伺うため、無作為抽出で2千の方を対象にアンケート用紙を8月初旬に郵送させていただきました。この回答を参考として、さきほどご説明した「公共施設保全計画」を作成したいと考えておりますので、ご自宅にアンケート用紙が届きましたら8月31日までにご回答くださいますよう、よろしくお願いいたします。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。